

R5 年度 デジとしよ信州と学校教育との連携による活用例 ver.2

	同じコンテンツをみんなで ※同時アクセスの制限がないコンテンツ：国内児童書同時アクセスモデルコンテンツ、オリジナルコンテンツ（信州の資料）、外国の出版社、青空文庫が利用可能。 ※モニター等への投影ができるコンテンツ：オリジナルコンテンツ（信州の資料）、外国の出版社、青空文庫が利用可能。	ひとりひとりが個別のコンテンツで ※個人の端末を使って、ひとりでデジとしよ信州のコンテンツを使う場合は、すべてのコンテンツが利用可能。
授業の中で	○英語の学習に - 読み上げ機能がついた絵本などを教室のモニターに映し、ネイティブの発音や表現の学びに。 ○各教科の学習に - 児童書同時アクセスモデルの作品をみんなで読み、感想を述べあう、歴史人物や職業について調べるといった活用が可能。 - 教科の学習に関連した信州の資料や青空文庫の作品から、時代背景や科学的な事象を学びあうといった活用が可能。 ○ふるさとの学びに - 県内の自治体が発行する資料や、貴重な信州の資料を使って、グループ等での学習が可能。	○国語の学習に - 作品や作者、テーマへの関心を深められる関連資料の活用が可能。 ○英語の学習に - 読み上げ機能がついた外国語作品は、発音や表現の学びに。 ○各教科の学びや総合的な学習、図書館活用の場で - さまざまな教科で、調べ学習や参考として活用できるコンテンツが充実。 ○そのほか、図画工作や家庭科学習にも - 入門書や実用書を用いて、作品の制作や実習の参考に。
授業以外の 場面で	○読書の時間に - 児童書同時アクセスモデルのコンテンツは、同時アクセスが可能。待つことなく借りられ、読書のモチベーション維持に。 ○そのほか、クラブ活動や委員会活動に - 練習メニューや企画を考える時の参考として。	○読書の時間に - リラックスタイムに、好きなコンテンツを借りて楽しむ。 ○余暇活動や家庭学習に - 宿題や長期休業中の課題の参考となる資料が充実。
多様な学び の場面で	○紙の本を読むことが困難な場面、特別支援学級・特別支援学校等で - 文字を認識することが困難な子どもに→読み上げ機能によって耳からの読書を楽しめるコンテンツも活用可能。 - 視力が弱かったり、文字や絵の認識が困難な子どもに→拡大機能を活用することで、文字や絵の認識を支援。 ○教育支援センター（中間教室）・フリースクール等、さまざまな居場所で - いつでも、どこからでもアクセスできる、電子書籍ならではの特徴を生かし、様々な居場所での読書・調べ学習等での学びの環境として活用。 - 教室に入ることや他者とのコミュニケーションが難しい子どもに→個別アクセスにより安心して図書館コンテンツを使える環境を保障。 ○外国籍の子どもに - 英語をはじめとした多言語のコンテンツが利用可能。英語で読む日本の漫画などは、文化を理解するきっかけに。	